

決算公告

第6期

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

株式会社 JR 西日本ホロニック

貸借対照表

2023年 3月31日現在

株式会社 JR 西日本ホロニック

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
【 流動資産 】	【 189,469 】	【 流動負債 】	【 407,583 】
現金及び預金	40,101	買掛金	22,448
売掛金	84,187	1年以内返済長期借入金	86,581
未収金	4,157	未払金	25,633
未収還付消費税等	11,343	未払費用	260,640
貯蔵品	15,435	未払法人税等	140
前払費用	34,220	未払事業所税	2,721
その他	24	預り金	3,680
		前受金	2,510
		賞与引当金	3,228
【 固定資産 】	【 264,568 】	【 固定負債 】	【 1,021,227 】
(有形固定資産)	(67,503)	長期借入金	1,018,419
建物附属設備	5,286	預り敷金	2,808
構築物	2,625	負債合計	1,428,810
工具器具備品	59,591	純 資 産 の 部	
(無形固定資産)	(13,205)	【 株主資本 】	【 △974,772 】
ソフトウェア	12,197	(資本金)	(10,000)
商標権	1,007	(利益剰余金)	(△984,772)
(投資その他の資産)	(183,860)	その他利益剰余金	△984,772
差入保証金	183,840	繰越利益剰余金	△984,772
出資金	20	純資産合計	△974,772
資産合計	454,038	負債・純資産合計	454,038

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品…… 最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産 …………… 定額法によっております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物附属設備及び構築物 10～20年
工具器具備品 2～15年
- ② 無形固定資産 …………… 定額法によっております。
・ 自社利用のソフトウェア 社内における利用可能期間(5年)にもとづく定額法 によってお
ります。
・ 商標権 償却期間10年の定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金………従業員への賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度に負担すべき金額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- ① 繰延資産の処理方法
創立費は会社の成立のときから5年以内のその効果の及ぶ期間にわたって、定額法により償却する方法を採用しています。
- ② 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 51,400千円

3. 当期純損益金額

当期純損失 319,125千円

注：記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。